

# 平成23年度 当初予算案

平成23年2月10日

Copyright©2011 佐賀県 All Rights Reserved.

## I 予算の基本的な考え方



## II 当初予算案の規模



### 1 歳出予算の概況



### 2 歳入予算の概況



## III 緊プロの総括



## IV 主要事業





# I 基本的な考え方

知事の改選期のため骨格予算として編成

緊急総合対策については切れ目なく実施

区 分		当初予算要求・編成基準		
一 般 経 費	人件費	年間所要額		
	維持補修費、扶助費	年間所要額		
	物件費、 投資及び出資金 補助金及び負担金	新規事業に係る経費は肉付予算対応 ただし、当初予算計上が適当な事業は当初予算対応		
	貸付金	修学資金等は当初予算対応 融資制度に係る貸付のうち、既往分は当初予算対応 新規分はH22.9月補正後予算の30%以内 を当初予算対応		
	普通建設事業	継続的事業、施工時期等から特に必要な事業に限り、当初予算計上 ただし、継続費、債務負担行為に係る事業については、年間所要額を当初予算計上		
		公共事業	H22.9月補正後予算額の50%以内を目安	災害関連、雨期前発注等、早期に発注する 必要がある事業については当初予算対応
		単独事業	H22.9月補正後予算額の30%以内を目安	
直轄事業負担金	H22.9月補正後予算額の70%以内を目安			
指 定 経 費	義務的経費	(災害復旧事業、法的経費、扶助費、公債費、人件費) 年間所要額		
	臨時・大型事業経費	継続事業であって、当初予算計上が必要なものに限り、年間所要額		



## Ⅱ 当初予算案の規模

**当初予算案総額**

**3,847億11百万円**

(22年度 当初予算比  $\Delta 13.0\%$ )

(22年度 現計予算比  $\Delta 17.1\%$ )

**緊急総合対策**

**174億84百万円**





## 過去の骨格予算編成時の予算規模

(単位：百万円、%)

年 度	当初（骨格）予算額		6月補正予算額		
	A	対前年比	B	同補正後 C=A+B	B/C
H 3	341,407	92.0	67,805	409,212	16.6
H 7	376,725	84.7	87,896	464,621	18.9
H 1 1	413,868	84.8	79,728	493,596	16.2
H 1 5	397,433	84.2	53,894	451,328	11.9
H 1 9	364,304	86.5	47,417	411,721	11.5
H 2 3	(367,227)	( 89.7)			
	384,711	87.0			

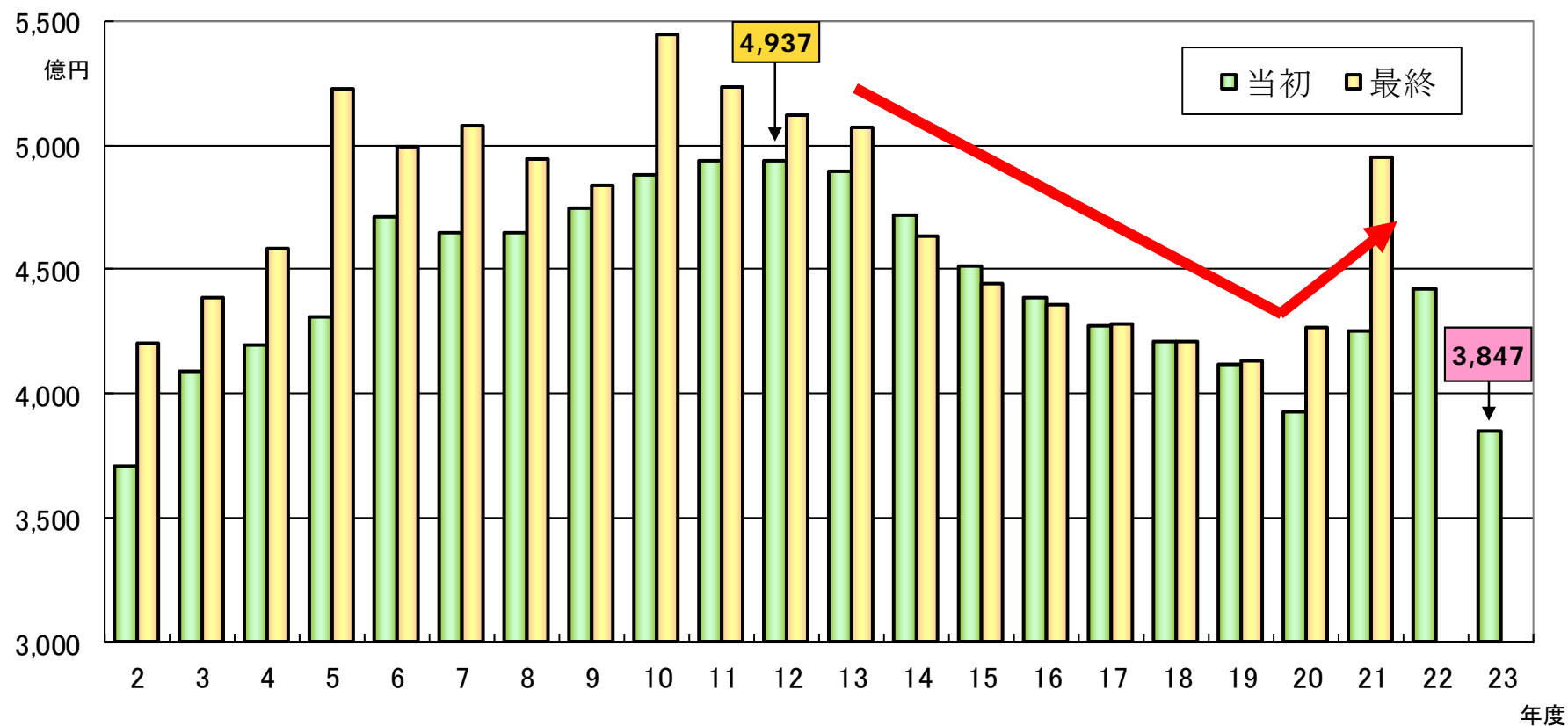
※ ( ) は経済対策を除く



# 予算規模の推移

当初予算は平成12年度をピークに減少が続いていたが、21年度から上昇に転じている

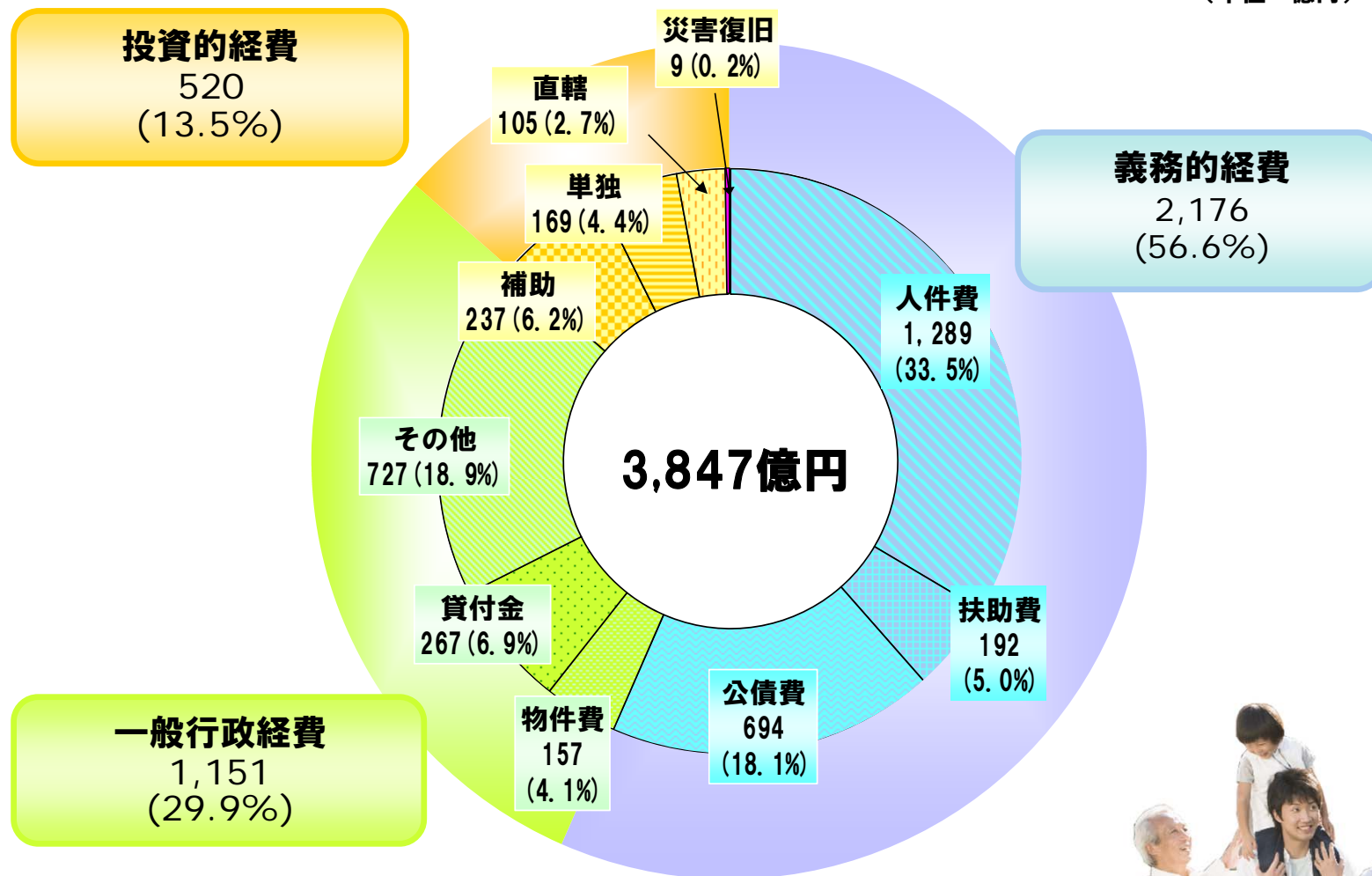
(骨格時当初は6月補正後)





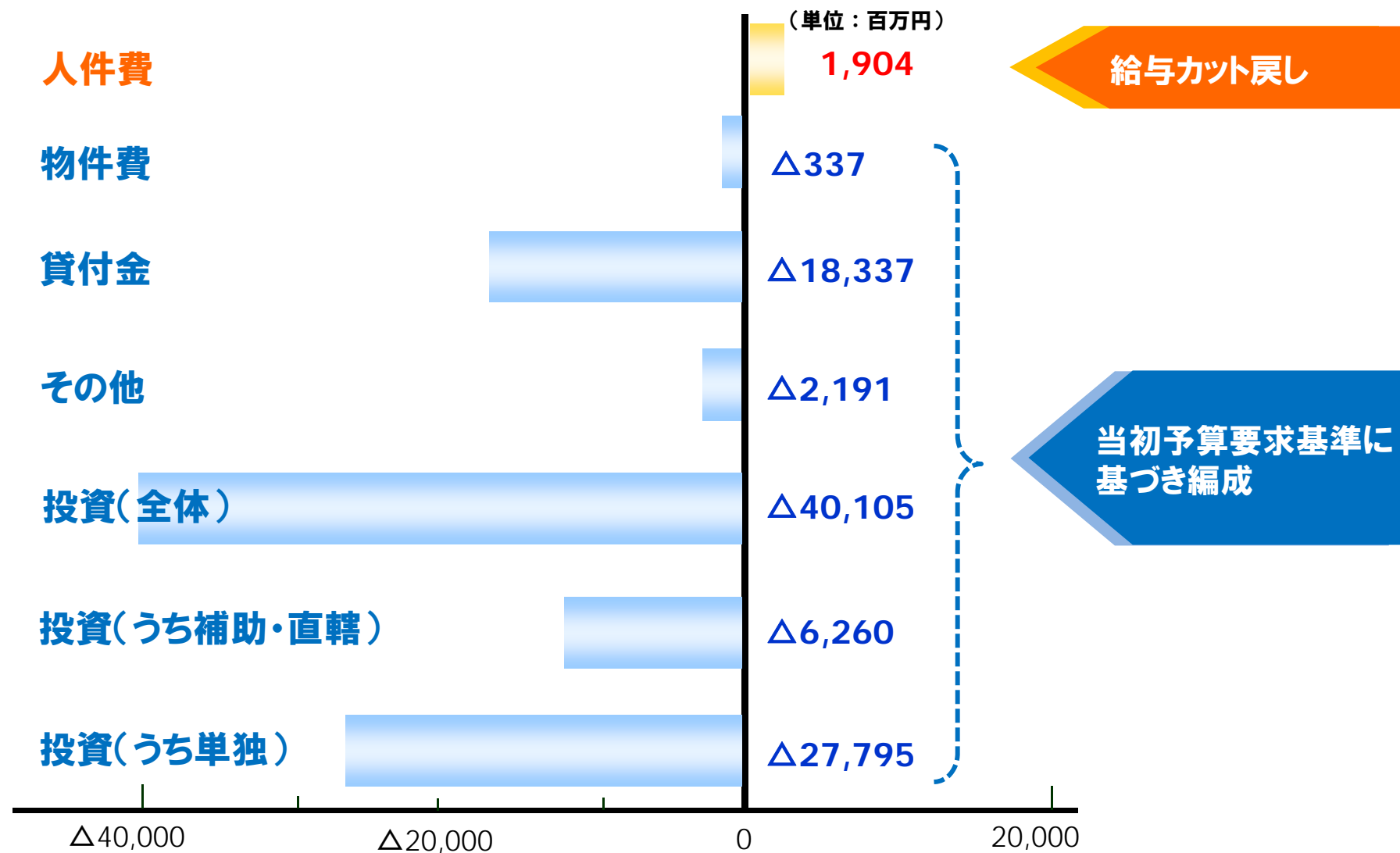
# 1 歳出予算の概況（性質別）

（単位：億円）





## 歳出の主な増減額(H22当初→H23当初)

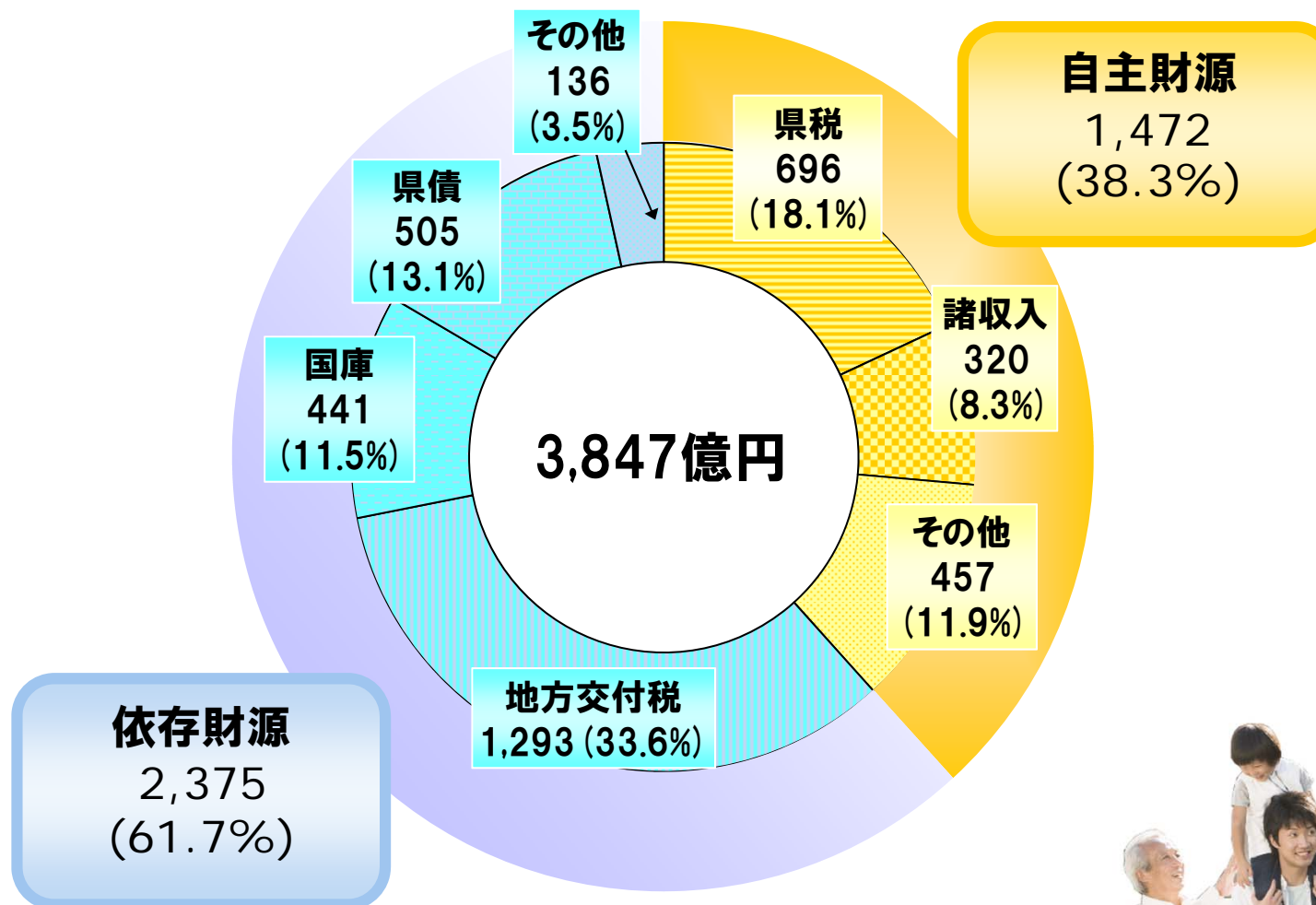






## 2 歳入予算の概況

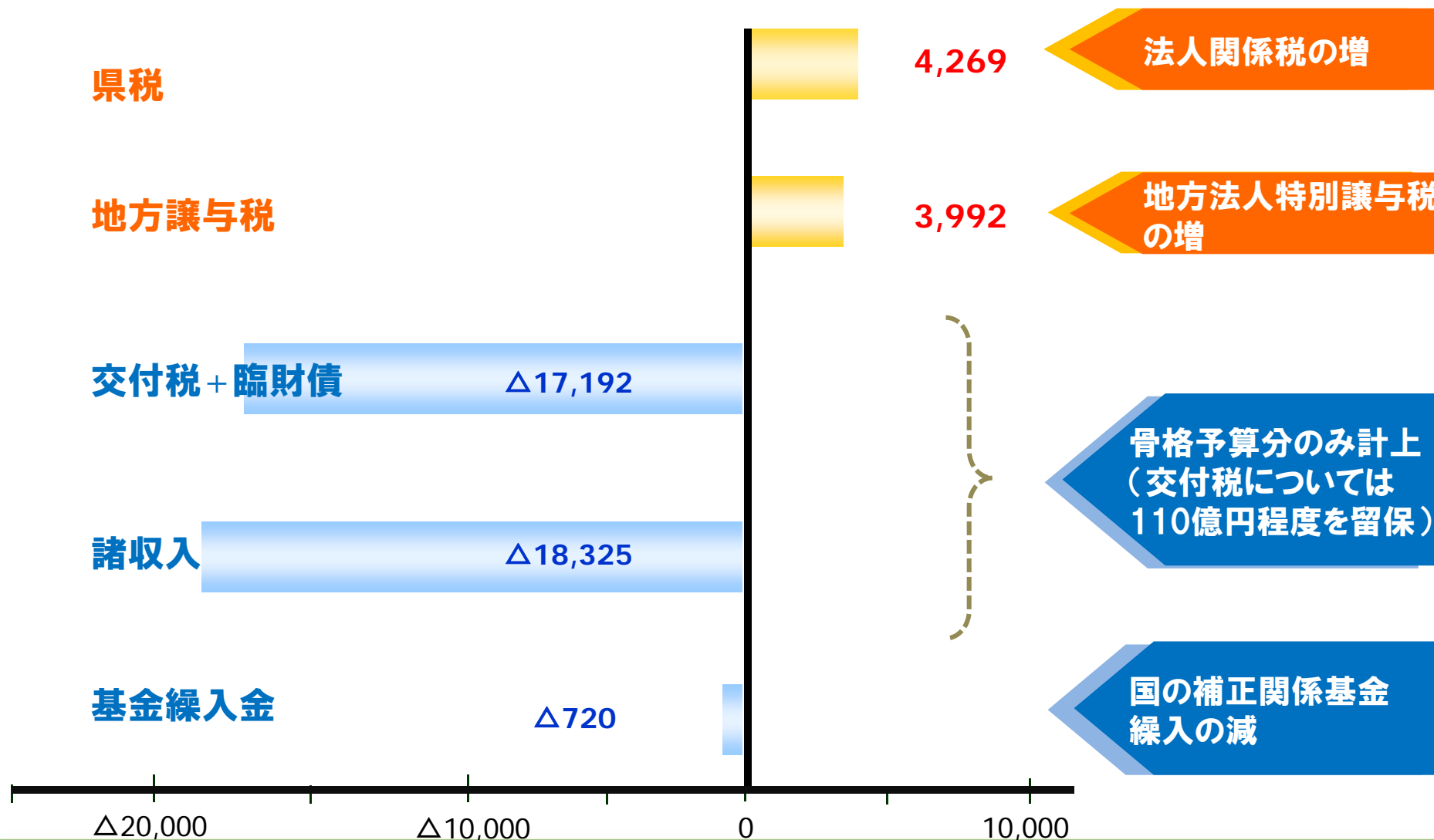
(単位：億円)





# 歳入の主な増減額（H22当初→H23当初）

（単位：百万円）





### Ⅲ 緊プロの総括

#### 【緊プロVer. 2.0】

H19.11月策定

基金残高目標：150億円程度

(単位:億円)

	H19	H20	H21	H22
収支不足額	△93	△1	△42	△57
基金残高	136	147	120	149

#### 【緊プロVer. 2.1】

H21.2月改訂

緊急総合対策は緊プロの財政フレーム外枠で実施

基金残高目標：H23予算編成ができる程度

収支不足額	—	—	△87	△76
基金残高	—	—	86	107

#### 実績

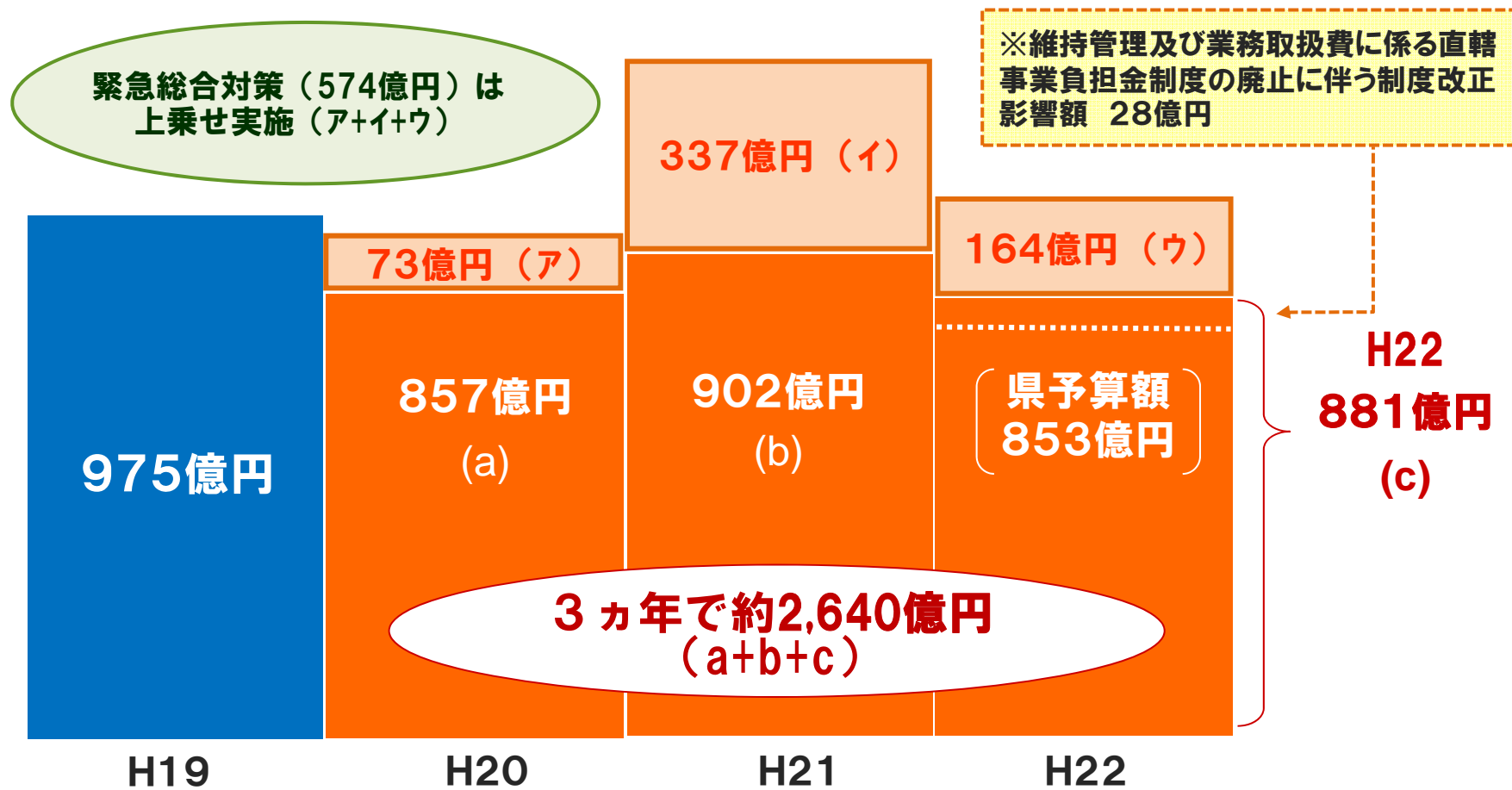
当初緊プロの目標を達成する見込み

収支不足額	△82	△6	△51	0
基金残高	152	164	131	158



# 公共投資の総額調整 (H20~22年度)

3年間で2,640億円程度となる予算額を確保できる見込み





# IV 平成23年度当初予算における主要事業

## 統括本部



国際リニアコライダー推進事業費  
多彩な文化を語るトークイベント開催事業費

## 農林水産 商工本部



さが機能性・健康食品開発拠点(仮称)事業費 **緊**  
水素利用社会システム構築実証等事業費  
新博多駅ビルを活用した県産品PR事業費

## くらし 環境本部



DV対策強化事業費 **緊**  
CSO活動基盤整備支援事業費 **緊**  
住宅用太陽光発電導入促進事業費

## 県土 づくり本部



こだまの森林づくり整備事業費  
新幹線活用推進費  
(新幹線活用地域づくり事業費補助)

## 健康福祉 本部



児童虐待防止対策緊急強化事業費 **緊**  
高機能薬局施設整備費 **緊**

## 教育 委員会



佐賀城築城400年記念  
「甕れ佐賀城天守閣」検証事業費

**緊**  
緊急総合対策



# IV 平成23年度当初予算における主要事業

## 豊かに くらす



高機能薬局施設整備費



CSO活動基盤整備支援事業費



## 文化に ふれる



多彩な文化を語るトークイベント開催事業費

佐賀城築城400年記念

「甞れ佐賀城天守閣」検証事業費

## 光を そそぐ



DV対策強化事業費



児童虐待防止対策緊急強化事業費



## 新たに 挑む



国際リニアコライダー推進事業費

さが機能性・健康食品開発拠点(仮称)事業費



新博多駅ビルを活用した県産品PR事業費

## 緑を 守る



住宅用太陽光発電導入促進事業費

水素利用社会システム構築実証等事業費

こだまの森林づくり整備事業費

## 地域を 活かす



新幹線活用推進費

(新幹線活用地域づくり事業費補助)

緊急

緊急総合対策



# 国際リニアコライダー推進事業費

政策監グループ 19,976千円

## 目的

- 国際リニアコライダー(直線衝突型高エネルギー粒子加速器)の脊振地域への立地を目指す
- 県民の基礎科学への理解促進
- 県民の国際リニアコライダー計画の意義についての理解促進

## 事業内容

### 基礎科学の理解促進

- ・ 研究者による授業や講演会
- ・ セルンへの物理教師派遣研修

### 地質調査

研究者グループが作成する設計書に必要な地質データ収集  
※福岡県と共同実施

### 国際リニアコライダー計画の理解促進

- ・ 講演会
- ・ 先端基礎科学次世代加速器研究会
- ・ 国際研究都市構想策定 及び 経済波及効果調査

※福岡県と共同実施



©Numazawa



# 多彩な文化を語るトークイベント開催事業費

政策監グループ 3, 784千円

## 目的

### 一流の文化論に触れる機会

文化活動の振興

平和の尊さを再認識

## 事業内容

### 第28回「平和の日」佐賀の集い(仮称)

日 程 : 平成24年3月3日(土)

参加者数 : 約1,300人

会 場 : 鳥栖市民文化会館

内 容 : 日本ペンクラブに所属する作家等、著名な文化人8名(2名×4組)により文化論や平和論を展開する対談方式のトークイベントを開催







# DV対策強化事業費



男女参画・県民協働課 18,217千円

## 目的

- 潜在化している相談等の掘り起こし
- 被害者を早期支援する仕組みづくり

## 事業内容



### DV等総合相談の強化

相談コーディネーターの配置  
相談員の増員  
市町への定期派遣  
男性総合相談窓口の設置

相談員の育成  
メンタルヘルス・ケアの充実

### DV被害者等支援体制づくり

各種支援プログラムの開発・実証

- ・ 避難母子の心理的支援プログラム
- ・ 性犯罪被害者の急性期支援プログラム
- ・ 子どもに対するDVの発見・支援プログラム

## 成果

### 相談から保護・自立まで一貫かつ継続した支援体制の整備

- 市町での相談窓口の整備等により、被害者等の早期発見・支援が可能となる。
- 被害者等の状況に合った、よりきめ細やかな支援が可能となる。



# CSO活動基盤整備支援事業費



男女参画・県民協働課 67,500千円

## 目的

NPO法人等の**市民社会組織(CSO)**が自ら資金調達し、自立的活動を円滑に行うための基盤整備を支援することで、CSOが公益性の高いサービス提供を担うことのできる環境をつくる

自立した運営が可能なCSOの増加

県民協働の推進による公益性の高いサービスの質と量の確保

県民満足度の向上

## 事業内容

金融機関からの融資利用への支援



団体運営や人材育成への支援



県民・企業等からの寄附の募集への支援



行政とCSOが連携した新たな協働のモデル事業への支援





# 住宅用太陽光発電導入促進事業費

## 目的

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策課 301,022千円

## 事業内容

新たに太陽光発電を設置する一般住宅に対し、補助を行う



最大出力1kW当たり2.5万円  
(一戸当たり上限金額:10万円)

事業期間 : 平成23年度～平成24年度

予定件数 : 3,000件/年

## 成果

家庭部門からの二酸化炭素排出量を削減

県民の地球温暖化対策に対する意識の向上



# 児童虐待防止対策緊急強化事業費



母子保健福祉課 67,800千円

**目的** 児童虐待の防止と発生時の適切な対応を図る

## 事業内容

虐待通告のあった場合の  
安全確認等体制強化

担当職員の資質向上

広報啓発の強化

体制強化のための  
環境改善

緊急対応の強化

### 県

非常勤嘱託職員を配置

専門機関での研修等

キャンペーン等の啓発活動

児童相談システムの構築等



### 市町（県補助）

非常勤嘱託職員を配置

専門機関での研修等

広報啓発  
関係団体等による啓発活動等

乳児家庭全戸訪問に必要な  
備品整備等

市町による創意工夫に満ちた  
取組の実施





# 高機能薬局施設整備費



薬務課 50,000千円

## 目的

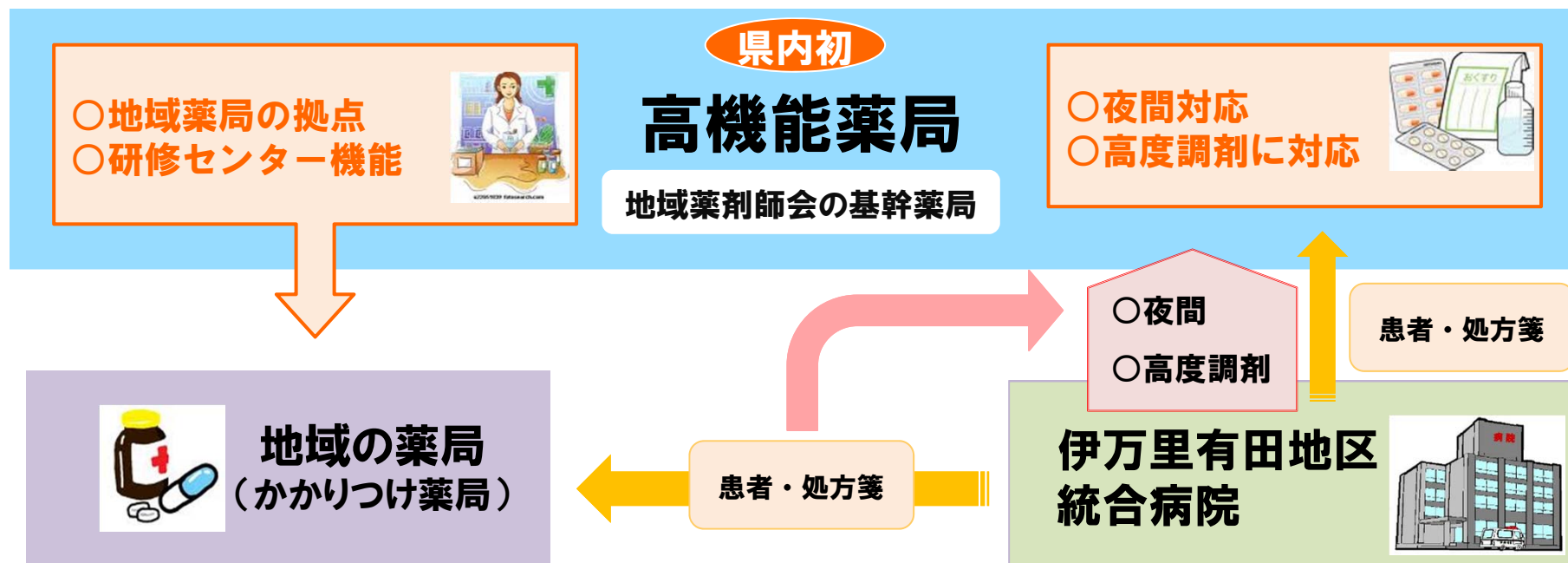
地域の医療提供体制(病院・薬局連携)の再構築を図るため、  
地域の拠点となる高機能薬局を整備する

## 事業内容

### 西部保健医療圏における高機能薬局の整備に対する補助

整備主体：一般社団法人伊万里有田薬剤師会

補助額：50,000千円(総事業費 69,565千円)





# さが機能性・健康食品開発拠点（仮称）事業費



新産業課 19,500千円

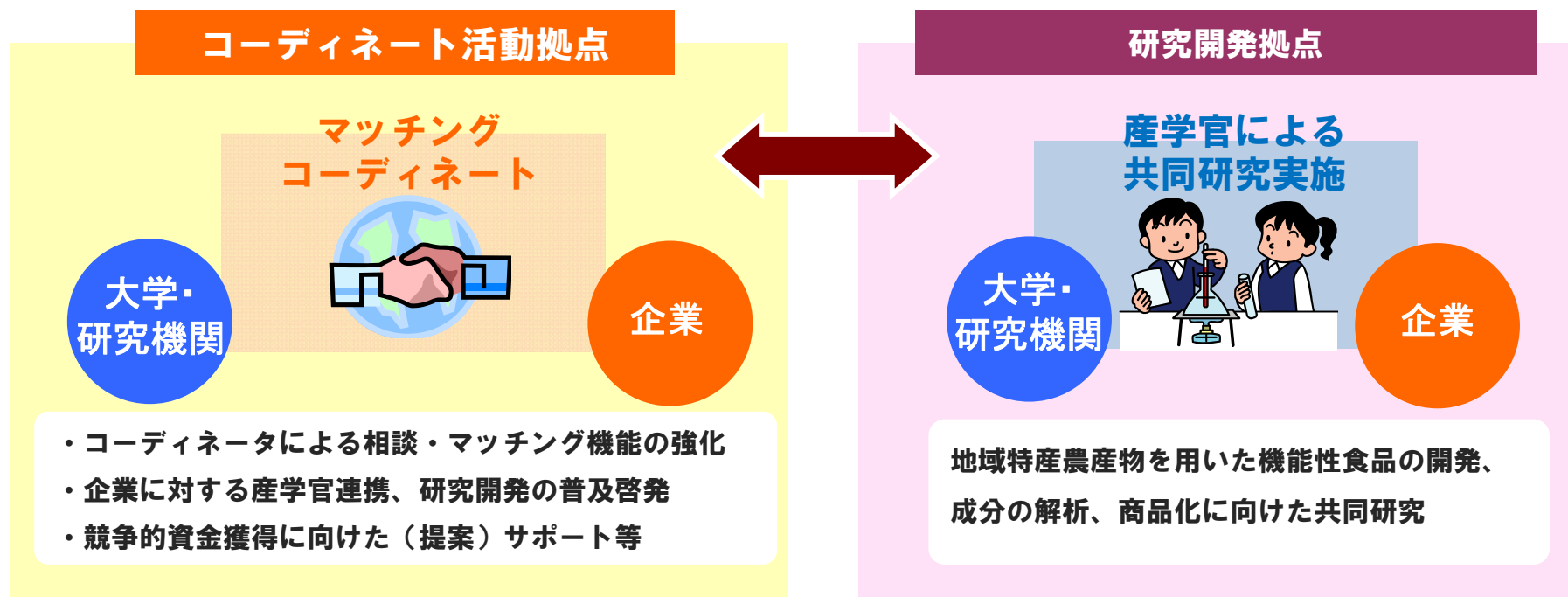
## 目的

機能性食品分野における、産学官共同研究を利用した県内中小企業の新製品開発を促進

付加価値の高い新産業を創出・集積

## 事業内容

企業とのマッチングを行うコーディネート活動拠点の機能を佐賀大学内の産学官共同研究拠点に持たせる





# 水素利用社会システム構築実証等事業費

新エネルギー産業振興課 45,450千円

## 目的

福岡県と連携した取り組み

水素ステーション整備の機運を醸成

燃料電池自動車(FCV)の普及



北部九州地域に集積する  
自動車関連産業の  
持続的な発展を目指す

## 事業内容

### 水素ステーション（鳥栖市）の運用

福岡県と連携して、FCVの広域走行やセルフ充填の  
社会実証の拠点として活用



### 啓発事業

FCV公用車のリースを継続し、普及啓発と社会実証に活用





# 新博多駅ビルを活用したPR事業費

## 目的

流通課・観光課 23,932千円

九州新幹線鹿児島ルート全線開通  
新博多駅ビル開業

新たな人の流れ  
集客

「佐賀」を知ってもらう  
「佐賀」に来てもらう

## 事業内容

佐賀県のPR事業(観光・県産品)を集中展開【開業から1年程度】

駅ビル広告宣伝媒体を活用したPR  
(デジタル広告・展示スペース)

博多阪急などでのイベント開催  
・県産品の料理教室やセミナー開催  
・市町等と連携した「佐賀県フェア」開催



平成23年度 当初予算案

Copyright©2011 佐賀県 All Rights Reserved.

 佐賀県  
<http://www.pref.saga.lg.jp/>





# もり こだまの森林づくり整備事業費

## 目的

オフセット・クレジット（J-VER制度）を活用し「森林を活かす」

森林整備課 63,513千円  
（うち拡充分2,774千円）

## 事業内容

H23

「多良岳・有明海の森」間伐促進プロジェクト

・間伐面積：63ha

（H22実施分56haを加算し、吸収量の認証申請）

・クレジットの取得量：約880トンCO2

H24～ クレジットを企業等に販売

・販売目標額：約440万円

・取組方法のマニュアル化、市町・企業等への普及啓発

## 成果

こだまの森林づくりの促進

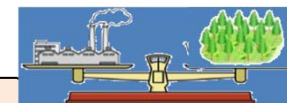
クレジット販売収入

間伐を更に促進

地球温暖化の防止  
（森林整備によるCO2削減）

## J-VER制度の活用

企業・市民は、自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力をする  
それでも削減困難な分は同量のクレジットを購入することで相殺（＝オフセット）する



オフセットクレジット（J-VER）制度とは・・・

自主的な温室効果ガス排出削減・吸収活動から生じた排出削減・吸収量をクレジット化し、企業等に販売する制度



# 新幹線活用推進費（新幹線活用地域づくり事業費補助）

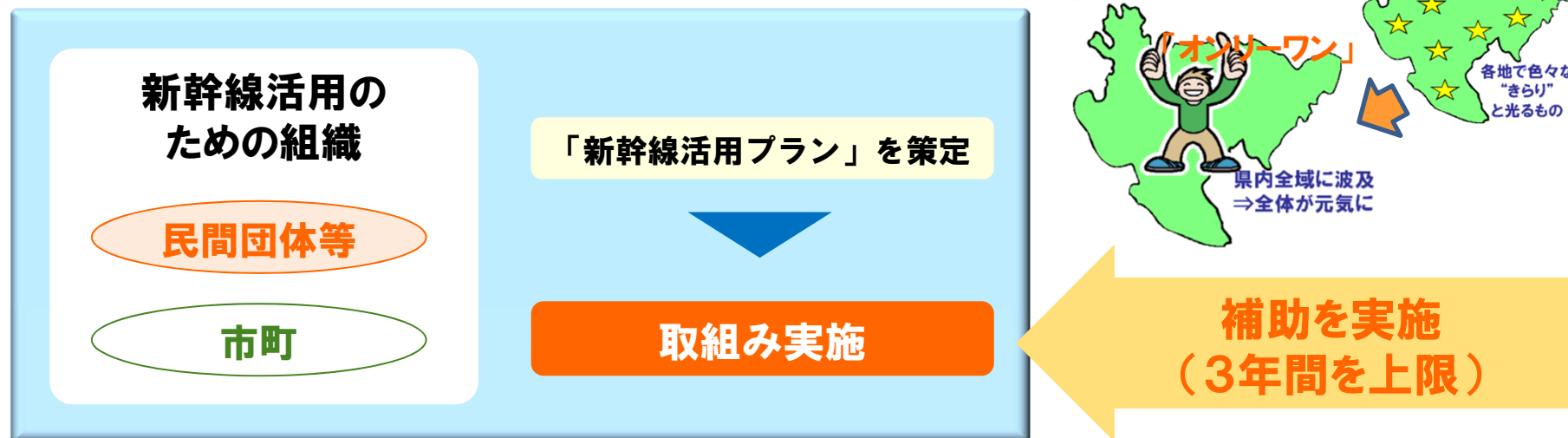
新幹線活用・整備推進課 20,000千円

## 目的

県内各地域における九州新幹線を活用した取組みを推進し、県内全域の地域経済を強く元気にする

## 事業内容

「新幹線活用プラン」に基づく「オンリーワン」を目指す取組みを実施する団体に対し、取組みに必要な経費を補助





# 佐賀城築城400年記念「甦れ佐賀城天守閣」検証事業費

社会教育・文化財課 1, 200千円

**目的** 佐賀城築城400年を機に、県史跡佐賀城跡の解明をさらに進める

**事業内容** 佐賀市が実施する天守閣跡調査への支援

## 発掘調査費補助（H23 約540千円）

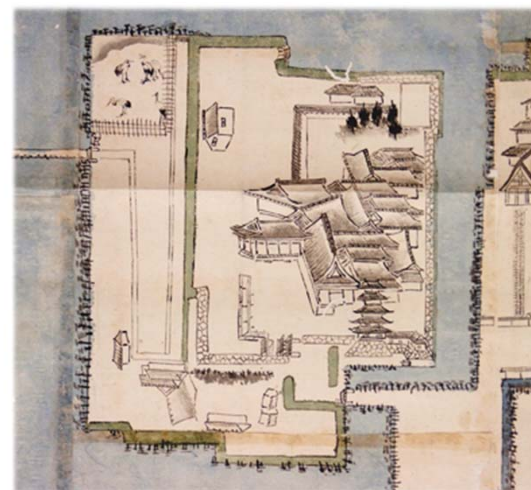
調査主体：佐賀市教育委員会  
調査費：H23-25 15,000千円（うち県費 2,700千円）  
うちH23 3,000千円（うち県費約540千円）  
負担割合：国50%、県18%、佐賀市32%

## 文献調査への協力

主体：佐賀市教育委員会  
協力：県教育委員会、佐賀大学

## 本丸歴史館を活用した広報・啓発 （H23 約660千円）

佐賀城本丸歴史館を活用した講演会・展示会等を実施



「佐嘉小城内絵図」本丸部分（下側が北）  
（財団法人鍋島報効会蔵）

## 佐賀城天守閣

慶長14(1609)年 建設  
享保11(1726)年 焼失～その後再建されず  
※佐賀城全体の完成は慶長16(1611)年



平成23年度 当初予算案



<http://www.pref.saga.lg.jp/>

お問い合わせ先

佐賀県 財務課

☎ 0952-25-7014

✉ [zaimu@pref.saga.lg.jp](mailto:zaimu@pref.saga.lg.jp)